

第32回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成30年2月6日 午前10時00分～12時00分

場 所 神戸市役所 2号館 4階 401会議室

1. 神戸市自転車利用環境総合計画の見直しについて

（1）計画全般・自転車走行空間に関する意見

- ・市の目指す姿について、都心三宮の将来ビジョンをはじめ、他の計画をどのように整合をとるかが重要である。
- ・現状、整備しやすいところを進めているように感じる。優先度で整備を進めていくことは難しいが、正しい進め方である。
- ・エリアの位置づけについて、駅周辺だけでなく、保育所等の送迎が多い空間において安全・安心な空間があれば良い。
- ・今の自転車レーンは平地部のみで長距離トリップのみをターゲットとしているように思うが、買い物等の短距離トリップ、六甲山の山登りなど観光の需要も多い。
- ・自転車レーンだけでなく、場所に依じてゾーン30の速度制限等の考え方も取り入れることは良い。
- ・GPSの経路だけでなく、パーソントリップ等の目的がわかるデータの活用は優先度の整理に役立つ。また、どうしたら使われるかを社会実験と合わせて検討してはどうか。
- ・車道混在は安全面が不安で心理的に走りにくい。車、自転車、歩行者など全ての安全・安心を完全に満足できればよいが、中途半端に全てを取り入れるのは無理がある。
- ・広い歩道の国道28号等においては、ランダムに植栽等を設置するなどし、自転車が歩道を通りにくくする工夫を取り入れると良い。

（2）様々な政策課題に対する自転車活用に関する意見

- ・自転車をバスや電車に乗せることやパーソナルモビリティの導入なども考えてはどうか。
- ・今後の高齢社会の進行やパーソナルモビリティの技術進歩など、10年先に必要な視点も取り入れていくべきである。
- ・他都市にはない新たな自転車施策のモデル地区を作り、アピールしていくことも大事だと思う。
- ・他の政策とからめて、人口減少地域の交通手段やまちの魅力づくりに自転車を取り入れていくかを考える必要がある。
- ・自転車利用者のマナー向上とルールへの周知を図ることにあわせて、もっと自転車利用しやすくする工夫があっても良い。
- ・郊外の駐輪場利用者減に対して、再配分するだけでなく、魅力向上のための検討も必要である。

以上